

吉浦春樹氏

世界を相手に... 化学技術者の会社生活
迫力ある示唆に富んだ内容
●小野塚 昇

氏の化学会社で海外滞在
や海外出張の多い43年の体
験談で、迫力ある示唆に富
んだ内容だった。

応用化学を選んだ理由
高校の春日先生の化学の授
業が面白く、化合物の仕組
みに関心を持った事や、「ア
ニリン」というコールドタ
ー

石油化学会社を選んだ理
由
●石油化学が新しい産業
で、会社自体も新しかった
こと。後から思うと会社
の規模よりも、若いうちか

ヨーロッパの話が大事で、
日頃関心を持つことが必
要。英語力も含め、その基
礎作りにも重要な時期が
高校時代である。

柏中42回生の同期会、
中越沖地震1年の日に開催

思えば、1年前悪夢のよ
うな大地震に見舞われたわ
が柏中は筆舌にあらわすこ
とのできぬほどの大災害で



村山 照家(中42)

通過して、柏崎を眺めたとき、
災害の傷跡を見たとき、
当時のあの惨劇が頭をよぎ
る。
この思いを忘れることは
できないと、敢えて被災の
当日そして被災の中心地でも
ある柏崎西本町で同志の
集まりを持った。

『復興柏崎』、『柏崎がんば
れ』、『またまた柏崎』と掛
け声は勇ましいが、一年を
経過後、柏崎を眺めたとき、
災害の傷跡を見たとき、
当時のあの惨劇が頭をよぎ
る。
この思いを忘れることは
できないと、敢えて被災の
当日そして被災の中心地でも
ある柏崎西本町で同志の
集まりを持った。

若山利文氏

発想の転換と不退転の勇気で、問題解決を図ろう
●村田 厚

6月11日の柏高同期会の
折、在校生への右記講演を
聴く機会を得た。初めて
聴く話題が多く実に興味深
かった。時間はあつとい
う間に過ぎ、もっと続きを
聴きたいという思いを残し
ながらの講演終了となつ
た。

講演の概要は
・世の中が大きく変わって
ゆく大転換の時期(環境
問題、食の安全、エネル
ギー)

・一番重要なのは健康(肉
体的にも、精神的にも)
・命は全て細胞でできてい
る(人は60兆個の細胞の
集合体、これが平均60日
ですっかり入れ替わる)
・命を支えている源は水素
(体の中では活性酸素
を水素で中和して無害な
水にする)
・水はよく燃える(水を水

部作り変えられていると
か、水はよく燃えるとか、
牛や豚の糞尿を蛋白質と完
熟堆肥に変えて食糧問題を
解決するとか、氏が取り組
んでいる活動に基づくス
ケールの大きな話、常識で
は直ぐには理解し難いよう
な話で、これこそ今まで問
題に通用している、発想転換
が必要ということを知り
たい。
在校生の皆さんは、身じ
ろぎ一つせずに、次から次
に繰り出される未来志向の
話に聞き入っていたが、こ
れから無限の可能性を持っ
ている若い心にきつと響く
ものがあり、人生の大きな
糧になったものと期待して
いる。

高四回卒 同期会

紅葉にはまた早い平成二
十年十月九日、昭和二十七
年柏高第四回卒業同期会
(高四会)が、京都駅に隣
接する京都センチュリーホ
テルで開催された。今回
は高卒五十六周年目に当た
り関西地区の当番である。
六年間をあの懐かしい旧校



村山 照家(中42)

参加者も殆ど常連となった
ため、名札は不要となり、
一目で意気投合、話が弾ん
でいた。
同期生は約二百三十名、
うち物故者は現在五十六名
となり四人に一人が亡く
なつたことになる。宴に先
立ち、その冥福を祈って全
員黙祷。続いて開催地幹事
を代表して駒野徹さんが挨拶。
乾杯は十年振りに参加
した生徒会長の本間啓四郎

さんをお願いする。参加
者全員のスピーチは、割当
時間ひとり二分間の中で現
況報告を終え、お互い久し
ぶりの再会に楽しい時間を
和気藹々のうちに進んだ。
続いて二次会は同じ会場
で開催。そこではついでこ
の前まで現役で鳴らした夜
の帝王諸氏によるカラオケ
合戦が酔うほどに盛り上
がっていった。
●高野武男 記

さんではありませんか。そ
の時はバスが遅れていたの
で、お礼もそこそこですぐ
に運転席に戻りバスを発売
させました。
平山さん、ご協力いただき、
ありがとうございます。
知事任中は別世界の方だ
と思っていました。優しい
お姿を拝見させていただき、
「さすがと驚くと同時にと
てもうれしかったです。
現在は大学でお仕事だそ
うですね。これからは弱者
の立場が理解できる人を一
人でも多く社会に送り出し
ていきたい」と期待し
ております。

2008年9月18日付 新潟日報「窓」欄より
車いす 押さえてくれた人は
新潟市中央区 中村 嘉弘(52)
バス運転手

私はバスの運転手をして
います。先日乗務中にあつ
たことです。新潟駅に向か
って運行中、車いすの方が
乗車され、古町で降りる時
のことでした。
私がバス停でスロープ板

を出している時、ある方が
声を掛けてくださいました。
その時は作業に集中してお
り、つぎのOBの方
だと思っていました。
車いすの方は普通、パツ
クで降りませんが、不慣れな
ためなかなかうまくいか
ず、前進で降りてもらいた
いと思いました。私が前を誘
導と支えになっていると、
先ほど声を掛けていただい
た方がハンドルを押さえて、
手助けしてくれました。
スロープを格納してお礼
を言おうと思ひ、顔を拝見
させていたと、その方
は何と、前知事の平山征夫

新野屋 新野 京一 (高22)
原酒造 原 吉隆 (高28)
高橋 巽 (高15)
高鳥 技術士 事務所
株式会社 酒井鉄工所
酒井好道 (高13)
酒井好男 (高16)
柏崎日報社
山田 明彦 (高18)
越後タイムス
佐藤塗料株式会社
佐藤裕幸 (高20)
佐藤信義 (中39)
高野 毅 (高30)
ライブ商事 中古車 販売・整備
田 優 (高16)